

2020年10月「ひめゆり」公演での 新型コロナウイルス感染拡大(クラスター)の原因について

10月公演のミュージカル「ひめゆり」の稽古中に発生した、新型コロナウイルス感染拡大(クラスター)について、現在も、埼玉県及びさいたま市と連携をとりつつ、クラスターの原因と見解、およびこれから先の対策について進めております。

【今回のクラスターの原因】

※県庁側が、実際にミュージカル座に来て、スタジオ内の検証や見聞を行い、別日に、埼玉県 保健医療部感染症対策課 入院調整・クラスター対策と、埼玉県 保健医療部 埼玉県衛生研究所とで、原因と今後の対策について会議などを開いた。

※県庁により、陽性者および濃厚接触者全員に、郵送でのアンケート調査を実施した。

■下記内容は全て、県庁によるアンケート統計と事前調査から出した、県庁の見解となります。

【統計と結果】

ミュージカル座でクラスターが起きたのは、間違いなく「飛沫感染」が原因。

《大人数にいききに感染拡大した要因》

ミュージカル座の換気や消毒作業は、医学的見地から見れば問題ないレベルであったが、

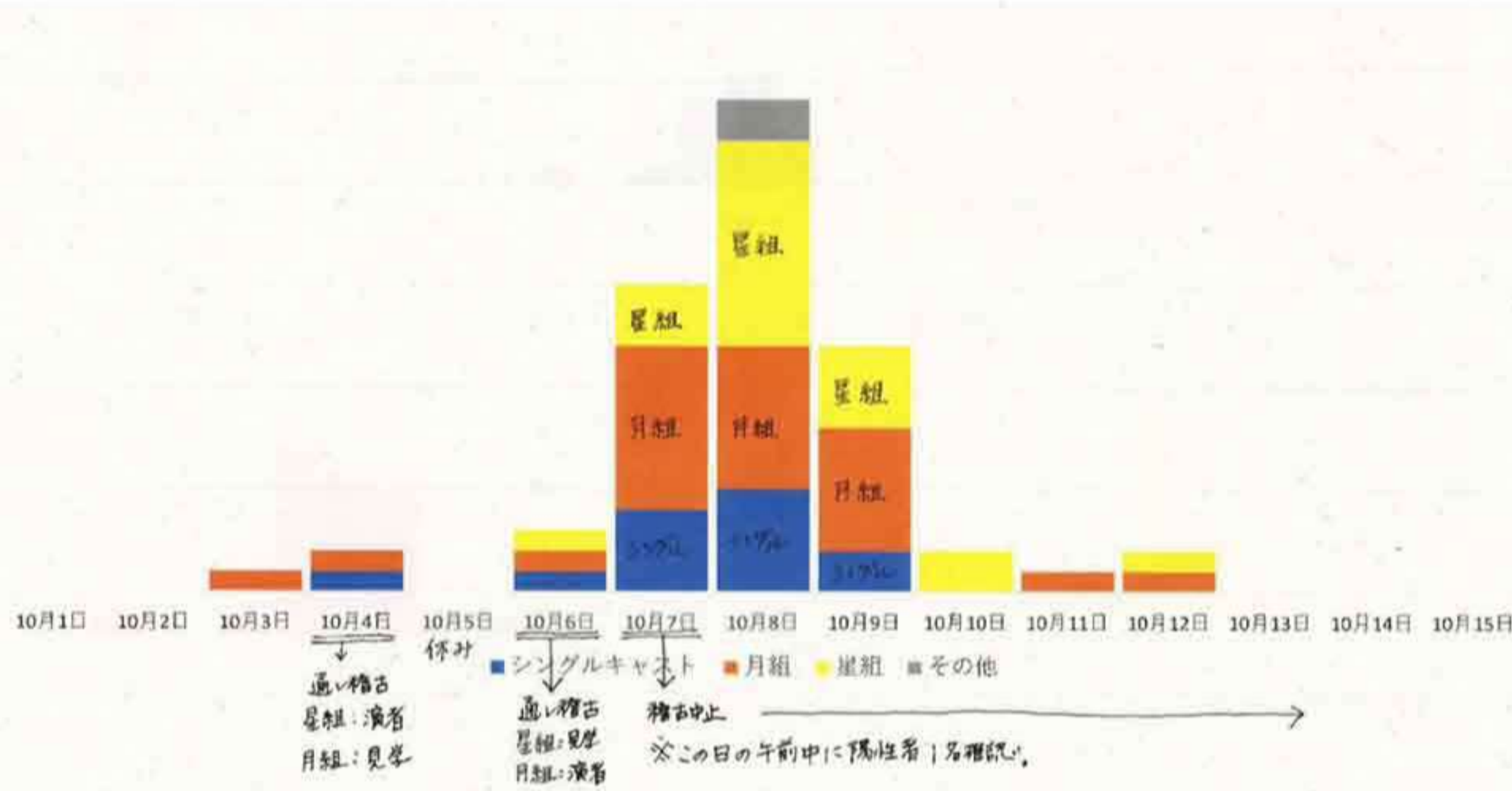
- 80㎡(Aスタジオ)に、一度に入っていた人数が多かった。
- 通し稽古時に、演者側がマウスシールドを着用して通し稽古を行った。(見学席およびスタッフ(演出など)の席は、全員不織布または布マスクを着用していた。)

- 人と人との距離が近かった。

※感染の種類には、「接触感染」「空気感染」などもあるが、ミュージカル座の場合は、ほぼ全ての原因は「飛沫感染」である。

※「人と人との距離が近かった」に関しては、芝居をやっている以上致し方ないが、全員が不織布・布マスクを着用していれば、クラスターは防げていた。

ミュージカル座における発症者数(発症日別)



※表の調査の結果、10/3、4にも症状があった人が3人いる。「ここからの感染拡大の可能性はないのですか?」と確認したところ、県庁側としては、アンケートの調査によると、当日の発熱や咳などもなく、体調が悪いという自覚症状すらもなかったのでは。後から書いてもらったアンケートなので、「今思い起こせば」喉がいたかったかも、そういえば頭痛がしていた。というもので、今回のクラスターの原因とは結び付きにくいとの見解。

(ミュージカル座では、稽古前のスタジオに入る前の検温と、体調が少しでも悪い方(熱っぽくなってきた、頭痛・腹痛等々の方)には稽古から帰ってもらっていた。)

1)10月4日

※まだ陽性者は確認されていない日

星組:通し稽古演者(マウスシールド着用)

月組:見学(不織布・布マスク着用)

↓

2)10月5日

稽古休み

↓

3)10月6日

※まだ陽性者は確認されていない日

月組:通し稽古演者(マウスシールド着用)

星組:見学(不織布・布マスク着用)

↓

4)10月7日

午前中に、陽性者1名確認

この日より稽古を中止

午前中から午後にかけて、他発熱者が増加。全員PCR検査を受けてもらい、陽性者が数多く確認されていく。

※他、細かい時系列は、ミュージカル座ホームページ『時系列のご報告と感染防止策のご報告』を参照下さい。

<https://musical-za.co.jp/oshirase201012.html>

↓

↓↓↓↓↓↓

【通常の感染の流れは】

Aさん感染→1~2日間経って→Bさんに感染→1~2日間経って→Cさんに感染と流れていくのが通常。

(1人目から3人目が発症するまでに4日ほどかかる。)

【今回のミュージカル座の感染の状況】

※上部の「発症者数(発症日別)」を参照

■10月7日と8日にいききに発症している人が多い

⇒潜伏期間の2日~4日間を加味して、ほとんどの人が、10月4日に感染していることがわかる。

※上記の「通常の流れ」だと、最初から稽古場内に、複数人が無症状で感染して稽古をしていれば、発症日の棒グラフの山はもっとバラけているはず。今回は、10月7日にいききに発症しているため、10月4日にある程度まとめて感染したことがわかる。

■10月7日の最初の発症人数が、月組が圧倒的に多い。(その翌日8日に星組がいききに発症している。)

見学の月組:不織布・布マスクを着用。

演者の星組:マウスシールド着用。

⇒普通は、「10月4日に、演じている星組が先に感染する。」と思われるが、今回の感染拡大に関しては、10月4日通し稽古時に、『至近距離の正面』から月組が見学をしていたため、演技をしながらスタジオ内を動いている星組より先に感染した率が高い事がわかる。

(見学していた月組は、全員不織布・布マスクを着用していたが、マスクは「人に感染させないもの」であって、「感染しないものではない」)

■10月4日に先に感染した月組が、10月6日の通し稽古時に、今度は逆の立場で、無症状・マウスシールドで通し稽古を行い、見学していた星組が感染した率が非常に高いこともわかる。

※もちろん、上記は全員ではないが、「発症日、演技者の立ち位置、見学席の位置、どんな感じの演技をしていたか、スタジオ図(実際に長さや距離や窓の大きさ・数などの検証日あり)」の統計から、上記の見解となる。

■最終的な結論としては、『ミュージカル座は、細かい数多くの感染対策や換気を行って、それらに対しては医療的にも問題のない対策ではあったが、「この日10/4に、ほぼ全員が一部屋にそろってしまった。そこで不織布・布マスクを外してしまった。」

とにかくこれが原因である。

他の感染対策も重要だが、一点集中で感染対策を行う。という考えも持ってほしい。』

以上が、今回のクラスターの原因となります。

ミュージカル座は、来年からの活動再開を目指し、今なお会議や検証を続け、活動再開する時には、上記の内容を深く胸に刻み対策を行ってまいります。

そして、キャスト・スタッフ、劇場と信頼関係を持ち、安心して稽古に参加してもらえるように、そしてお客様が安心して観劇いただけるようなカンパニーにしていく所存です。